

接着剤・その他副資材 注意事項

エマルション形・ラテックス形接着剤のご注意

選択上のご注意

- 施工する床材に適合する接着剤を、下地の種類・下地条件・使用条件に応じて、東リ標準工法に基づいて選択して下さい。詳細は「東リ施工マニュアル」、本誌524頁をご参照下さい。
- 湿気のある下地や、表面強度のない下地、不陸のある下地などは、使用を避けて下さい。接着強度が低下し、床材の剥がれ・浮き・反りなどの原因となります。

使用上のご注意

- ！ 使用の前に、接着剤の容器に記載している表示事項をご参照下さい。
- ！ 床材の接着以外には使用しないで下さい。
- 上澄み液が分離している場合があります。使用前によく攪拌してからご使用下さい。
- ！ 使用中、誤って眼に入った場合は、水で充分洗浄後、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 床材を貼り上げた後、ローラーなどで充分圧着して下さい。圧着が不十分な場合、床材の反り・突上げ・膨れ・剥がれなどを発生させる可能性があります。
- 接着剤が充分効果を発揮するまでは、水洗い・急激な温度変化・重量物によるしごきなどを避けて下さい。突上げ・目地スキ・剥がれなどを発生させる可能性があります。
- ！ 施工後、使用済み容器などを廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。段ボール紙などを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。接着剤を燃やすと有害ガスが発生します。

溶剤形接着剤のご注意

選択上のご注意

- 施工する床材に適合する接着剤を、下地の種類・下地条件・使用条件に応じて、東リ標準工法に基づいて選択して下さい。詳細は「東リ施工マニュアル」、本誌524頁をご参照下さい。
- 過度に湿気のある下地や、表面強度のない下地、不陸のある下地などは、使用を避けて下さい。接着強度が低下し、剥がれ・浮き・反りなどの原因となります。

！ 労働安全衛生法・消防法による規制があります。ご確認ください。

使用上のご注意

- ！ 使用の前に、接着剤の容器に記載している表示事項をご参照下さい。
- ！ 床材の接着以外には使用しないで下さい。
- ！ 有機溶剤を含んでいます。消防法及び労働安全衛生法の法令に従い施工を行って下さい。火気厳禁とし、室内の換気が心がけ、有機溶剤作業責任者立ち会いのもとで使用して下さい。有機溶剤は引火しやすく、蒸気を多量に吸い込むと人体に影響を及ぼす可能性があります。547頁“法律上の規制”を厳守して下さい。
- 上澄み液が分離している場合があります。使用前によく攪拌してからご使用下さい。
- ！ 接着剤が皮膚に直接触れると皮膚障害をおこす事があります。皮膚に触れないように必要に応じて保護手袋を着用して下さい。
- ！ 使用中、誤って眼に入った場合は、水で充分洗浄後、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 床材を貼り上げた後、ローラーなどで充分圧着して下さい。圧着が不十分な場合、床材の反り・突上げ・膨れ・剥がれなどを発生させる可能性があります。
- 接着剤が充分効果を発揮するまでは、水洗い・急激な温度変化・重量物によるしごきなどを避けて下さい。突上げ・目地スキ・剥がれなどを発生させる可能性があります。
- 施工後、充分にガス抜きを行って下さい。溶剤による床材の膨れが生じる事があります。
- エポキシ樹脂系接着剤は、上澄み液が分離している場合があります。別々のヘラで均一になるように攪拌してから、混合用別容器に等量ずつ量り取り混合して下さい。混合後も充分に攪拌してから使用して下さい。
- ウレタン樹脂系接着剤は湿気と反応して硬化します。開缶した状態での長時間放置は避け、使用残の接着剤は缶に戻さないで下さい。

- エポキシ樹脂系・ウレタン樹脂系接着剤は、溶剤によって床材が膨れや突上げをおこす可能性があります。待ち時間・塗布量に配慮して下さい。
- ウレタン樹脂系接着剤は、溶剤が塩化ビニルに浸透しやすく、床材を伸ばす可能性があります。又、塗布量が多くなると溶剂量も多くなり、反応に時間がかかるので注意して下さい。

！ 施工後、使用済み容器などを廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。段ボール紙などを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。接着剤を燃やすと有害ガスが発生します。

運搬ならびに保管上のご注意

！ 消防法及び船舶安全法などの法令に従い、容器に漏れのない事を確かめ、転倒・落下・破損がないように荷崩れ防止を確実に行って下さい。保管にあたっては、消防法による集積限度にご注意下さい。火気厳禁。

目地棒のご注意

選択上のご注意

- 床材の厚さに適した目地棒を選択して下さい。

施工上のご注意

- 施工後は、目地棒全面を圧着して下さい。圧着不良は接着不良の原因となり、後日、目地棒の反り・突上げ・剥がれなどを発生させる可能性があります。
- ！ 施工後、残材などを廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。梱包ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。目地棒を燃やすと有害ガスが発生します。

メンテナンスならびに使用上のご注意

- 目地棒・ビニル床タイルの剥がれ・反り・膨れ・割れなどが生じた場合は、即座に補修して下さい。放置すると、全体に影響が及び、美観を損なうほか、転倒事故を発生させる可能性があります。
- 水・紫外線・重量物・汚染物質・化学薬品などの影響で、目地棒自体の変質・変退色や、施工後の剥がれ・反り・突上げ・目地スキなどを招く可能性があります。

溶接棒のご注意

選択上のご注意

- 施工するシート床材専用の溶接棒をご使用下さい。溶接棒とシート床材は、同じ番号を有しています。
- 溶接棒とシート床材は、製品の色が若干異なる場合があります。ご了承下さい。

施工上のご注意

- 床施工時の接着剤が硬化した後（約24時間後）に継目処理を行って下さい。
- 必ず、シートの継目部分をUカットまたはVカットした後溶接して下さい。カットせずに溶接すると溶接不良を発生させる可能性があります。
- ！ 施工後、残材などを廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。梱包ケースなどを焼却する場合は、都道府県条例に基づき処分して下さい。溶接棒を燃やすと有害ガスが発生します。

メンテナンスならびに使用上のご注意

- 溶接棒の剥がれが生じた場合は、即座に補修して下さい。放置すると、全体に影響が及び、美観を損なうほか、転倒事故を発生させる可能性があります。
- 水・紫外線・重量物・汚染物質・化学薬品などの影響で、溶接棒自体の変質・変退色や、施工後の剥がれ・反り・目地スキなどを招く可能性があります。